

# 2024年春渡航



英語の授業で学んだことを授業外の時間で  
使用することができ、実践的に英語が身につ  
いていると感じました

システム理工学部 生命科学科 2年 松田 良恵さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アイルランド・DCU

2年生の間、大学で毎日学べる英会話に参加し、英会話を約1年間学びました。そこでは、英語の使い方だけでなく、コミュニケーションの取り方などを学ぶこともできました。実際に英語を使ってみようと思い今回語学研修に参加しました。アイルランドでは、4週間のプログラムで、英語を学びたいという理由以外にも海外で生活してみたい、ヨーロッパに行ってみたいという理由からこのプログラムを選びました。

滞在期間中は、平日は午後約4時間の英語授業を受講し、グループで自分の意見を述べたり、ボードゲームをしたりして、学んだ英語の練習をしました。また、金曜日に一週間で習った英語のテストがあり、ここではライティング、リスニング、リーディング、プロナウンシエーション、ボキャブラリー、スピーキングなどがあり、苦手な部分や伸びしろがある部分を知ることができ、実際に4回のテストを受けて意識したところが伸びているのがわかったりして、楽しく学ぶことができました。

プログラムでは、授業外の時間もあり、土日には友達と出かけたりしました。特に、字幕なしの映画を見に行き、内容を理解できたことで、自信を持つことができました。また、プログラムに参加していた他学科との交流や、他大学との交流もあり、自分の学んでいる分野以外についても聞いたり話したりして、英語だけでなく、将来について、広い視野で改めて考えるいい機会になりました。最初は4週間も海外で英語を学ぶことに少し不安もありましたが、思っていたよりもあっという間でホームステイも休日も授業も充実したものになったと思います。



日本では体験できないヨーロッパの文化を通して語学の勉強のモチベーションをあげることができました。

工学部 応用化学学科 2年 伊藤 礼音さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アイルランド・DCU

自分は、日ごろから英語の勉強を習慣的にすることがモチベーションを高く保つことができず、三日坊主になることが多々ありました。そのため長期休みに実際に英語圏で1か月という長い期間英語の生活をする中で強制的に英語を使う習慣をつけることや、日本以外の文化を知ることで英語を学ぶモチベーションをつけたいと思い、今回のアイルランド語学研修に申し込みをしました。

滞在期間中は、午前若しくは、午後に4時間の英語の授業に参加しました。現地の授業は日本での英語の授業とは異なりインプットよりもアウトプットに重点を置いています。文法的な内容であったり、単語の勉強であったりといったことももちろんやりますが、教科書のないようについて賛成か反対か？やこの題材についてあなたは どう思いますか？といったことを3~4人のグループで討論をすることが授業内でたくさんありアウトプットが大きくあり非常に面白かったです。クラス編成は12人から15人程度と非常に少人数であり一回の授業で数回は必ず発言する機会があるため英語で発言することに消極的な人にも効果的な授業になっていると思います。また、少人数であることによって、先生が生徒一人ひとりに目を向けてくれていて、質問対応がとても丁寧で困ったことがあったり、わからないことがあったりした際に消化不良のまま終わらせることがないです。

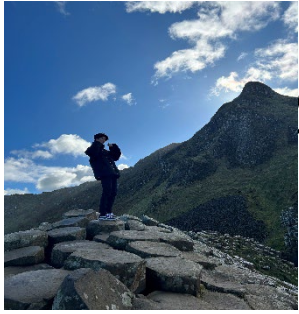
ホームステイでは、アイルランドの国民性としてとても気さくで、お話が好きな人が多いのでホストマザーやホストファザーが色々な話をしてくれたり、観光地を紹介してくれたりしたので寂しいと感じたり、疎外感を感じたりせずに1か月あっという間に過ぎていきました。

土日はDCUの授業がなかったためいろいろな場所を観光しました。ヨーロッパということもあり日本とは異なり、街並みも石造りであったり、生活の中に宗教色が混じっていたりと日本では見たり感じたりすることができないことを生活するだけで感じられました。ダブリンというアイルランドの首都にあることもあり生活に困ることはなく、観光としては、自然が豊かで様々なハリウッド映画の撮影地になっている世界遺産や、お城や教会等の歴史的建造物もたくさんありとても楽しめました。

1か月ということでアイルランドの生活に慣れ始めてきたなというタイミングで帰国という短期間のプログラムで実際に語学力が上昇したかは体感することはできませんでしたが、実際に外国の雰囲気や生活文化に触れることや、外国人と会話する経験を経て外国語を学ぶモチベーションを高めることができました。

英語の授業に積極的に参加、特にspeakingの練習をたくさん行ったことで、英語の表現力が高まり、英語力が向上しました！

工学部 材料工学科 2年 櫻井 康生さん



### 参加プログラム DCU 4週間

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可

派遣先： アイルランド・DCU

まず、言いたいのはアイルランドは素晴らしいところで、とても自然が豊かな国です。自然など空気がおいしい、緑が豊かなところが好きな人は特におすすめです。基本的に優しい人が多く、わからないことがあっても教えてくれると思います。自分がお世話になったホストファミリーは、本当に優しく、とても明るい人でいつも笑わせてくれるほんとうにいい人でした。もちろん困っていることに対して、親身に聞いてくれて、教えてくれましたし、急に夕飯食べる必要がなくなった、自分たちの時間を優先してくれたりしました。ほんとうに楽しかったです。

スリは多いので、貴重品は絶対に身から離さず、カバンのチャックは常に閉めておくことを意識しましょう。期間が1ヶ月しかなく、あっという間に終わってしまいました！しかし、海外留学初めての人、海外で暮らすとこういう感じになるのかなど経験するにはちょうど良い期間だと思います。

また、アイルランドの西の方や、北アイルランドに行くツアーなど調べて、申し込んで参加するのもすごく楽しく、貴重な経験になること間違いなしなので、おすすめです！（朝早く起きなければいけないのが、ちょっと嫌でした。。）留学に行きたいけど、自分の英語力じゃ無理だと思う方も多いかも知れませんが、その一歩を踏み出すこと、英語しか通じない環境で自分がどう影響を受けるのか実際に感じる事がなにより良い経験になると思います。自分は、アイルランド留学終えてから、もっとより長期間の留学に行きたいと思うようになりました。

頑張ってください。応援しています！



留学を通して、海外に対するイメージがまるっきり変わりました！そして、海外で暮らすことのハードルが大幅に下がりました！

工学部 機械機能工学科 3年 菊池 玖晃さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アイルランド・DCU

アイルランドは他の留学先と比べてもあまりなじみがないと思います。私もそうでした。だからこそ行ってみたいと思い参加しました。

アメリカとも、イギリスとも違う、オーストラリアとも違う、全くイメージしていない新しい西欧に対する価値観を期待し参加しました。

アイルランドは北海道くらいの島で、私の過ごしたダブリンは千葉県柏市くらいの大きさしかありません。しかも町の中心街は皇居くらいのサイズしかなく、とても小さいです。そのため、有名な観光地巡りに振り回されることなく、その土地の人々の暮らしや文化をじっくり知ることができました。

アイルランドはその歴史の大半が大英帝国の植民地であったほか、今でも北アイルランド問題を残しています。そのせいで反英主義が強く根付いており、会話の端々や生活の片隅、あるいは観光などで英国に対する悪い印象を強く感じました。また、パレスチナ問題に対するデモ行進や植民地支配や貧富の格差からくるマルクス主義をすすめる活動など、日本ではあまりなじみのない思想に触れることもできました。また私が訪問した時期はちょうどアイルランドの憲法改正に関する国民投票の時期でした。街頭演説などは無く、政党の方が一軒一軒家を回って会話しながら党の宣伝を行うなど、選挙の方法や考え方が日本と異なっていて興味深かったです。

ホストファミリーとの生活やほかの留学生との交流でも新しい文化を学ぶことが出来ました。例えば、事前学習ではアイリッシュブレックファーストが有名とありましたが、だれも食べていませんでした。それどころか、作るのが面倒だし外でも高いといった具合でした。私の家では夕飯に「文化を知るために作ってあげたよ」といった具合で出されるなど、よりリアルな生活を感じられて非常に興味深かったです。

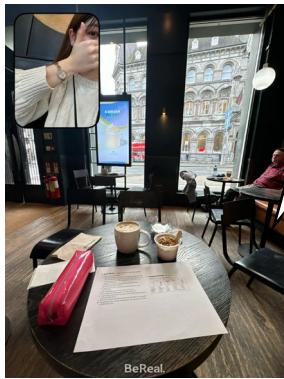
楽しんで英語を学びたい、海外の生活に興味がある、自分を成長させたい、新しいことに挑戦してみたい方にお勧めです。特に歴史に興味があり、新たな視点で歴史を見てみたいという方、イギリス史が好きだという方には是非おすすめです！

# 2024年春渡航



工学部 機械機能工学科 3年 菊池 玖晃さん





短期間で英語の能力を高めることが出来ました！とても充実した1か月でした！

建築学部 建築学科 1年 奥山 綾乃さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可・ 不可

派遣先：アイルランド・DCU

2023年夏にも他の語学研修プログラムに参加し、とてもよかったので帰国後にこの春の参加も決めました。

このプログラムでは午後に授業がありました。授業内容はクラスによってかなり違ったのですが、私のクラスは配布された教科書にそって、グループディスカッションをしながら進めていき、時々リスニングやゲームなどがありました。習った語彙は、この1か月でも使う場面のあるものが多く、すぐためになりました。文法も、日本では中学で習うようなものから習いましたが、英語で習う方が、根本的に分かりやすく理解できて、とても良かったです。

午前中は、DCUが開催しているアクティビティに参加したり、シティーやお城やビーチ、公園、美術館などの観光地を訪れたり、カフェなどで授業で出た課題をしたりして過ごしました。授業は午後2時からだったので、午前中は有意義に過ごせました。

土日の休日は、平日の午前中には行けない少し遠めのところに出かけました。初週末は、友達と1泊2日で、ダブリンからアイルランドの南部の都市のコーク、西にあるモハーの断崖を見るツアーに参加しました。その道の途中でも沢山のお城を訪れました。他にも、ヨーロッパで1番大きいショッピングモールや有名なお城に行きました。

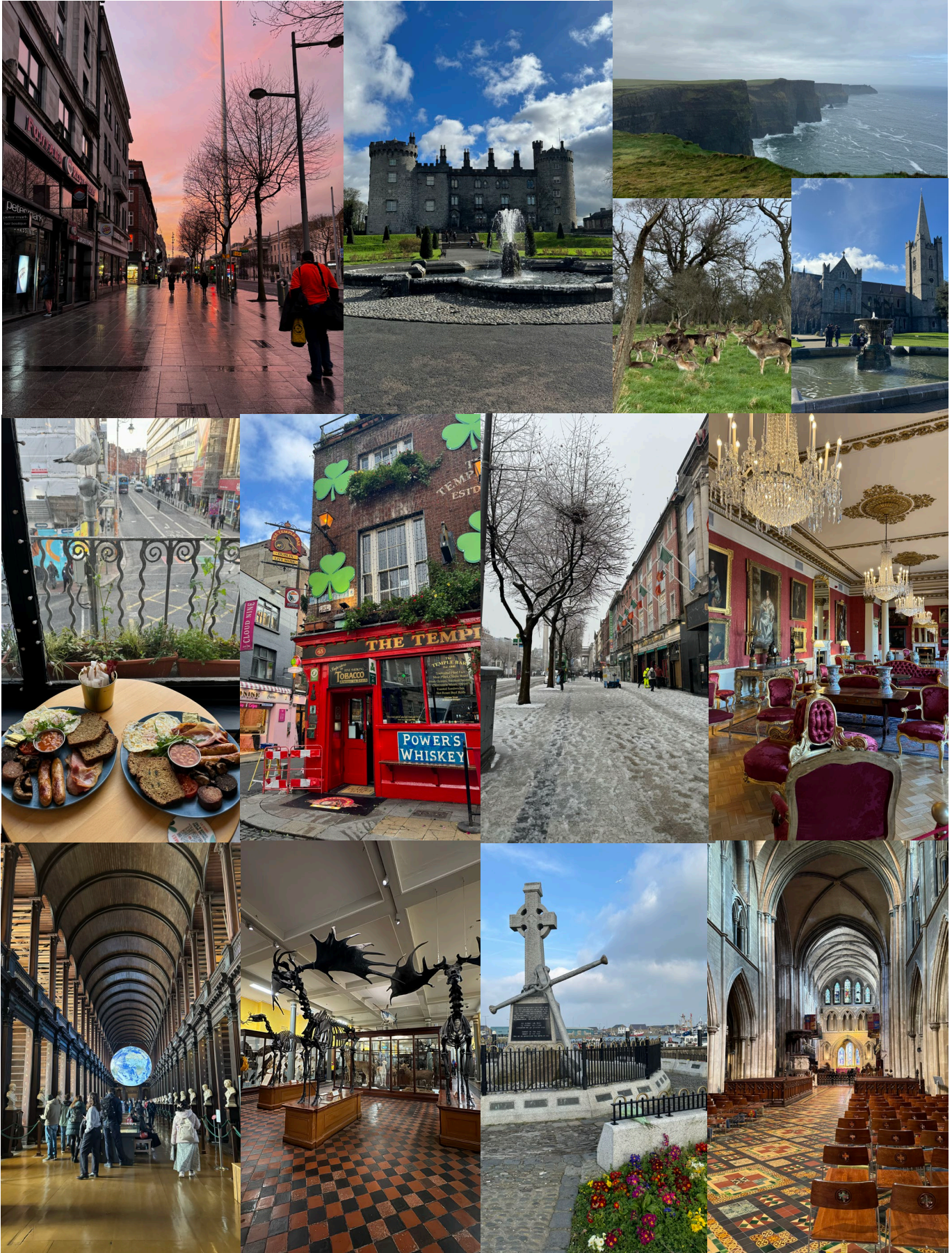
私はアイルランドのごはんがとてもとてもおいしくて、ご飯が一番恋しいです。ホームステイ先で出してもらったごはんもとてもおいしかったです。物価は円安なのもあり高く、食費は高めになってしまいました。でもその価値があるくらいおいしかったです。

英語の能力が確実に伸びたので、帰国後も向上し続けられるように英語の学習を日常からするようになったので、英語学習のモチベーションを高めるためにも語学研修は役立ちました。

# 2024年春渡航



建築学部 建築学科 1年 奥山 綾乃さん







濃すぎる1か月！英語をしっかりと学びつつ  
とても充実した毎日を送れました！

工学部 応用化学科 2年 新井 由羽さん

## 参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：  可 ・  不可

派遣先：アイルランド・DCU

いつかは留学に参加したいと思いつつ、なかなか踏み出せないでいたら2年生も終盤。就活が始まってしまっは時間がない！と思いつて一人で語学研修に申し込みました。アイルランドを選んだ理由は、英語圏の国の4週間プログラムの中で一番コストが低く、初めてのホームステイも体験してみたいと思ったからです。

プログラム内容は、平日14:00～18:00に大学で英語の授業、その他の時間はすべて自由時間です。午前中は申し込み型のアクティビティに参加したり、中心街で買い物やカフェに行ったり、大学のカフェで英語の勉強をしたりなど過ごし方は様々でした。また、放課後に夜のシティへ行ってアイリッシュダンスを見れるディナーを楽しんだり、クラスメイトのみんなと授業後、大学内のカレッジバーでおしゃべりをしながらご飯を食べたりしました。休日は有名な観光地に行ったり遠い地へ旅行に行ったりしました。プログラムで現地の学生と関わる機会はあまりなく、外国人の友人はあまりできませんでした。私が滞在中に新たにできた友達は、クラスメイトのフランス人の女の子、友達の紹介で仲良くなったフランス人ボーイ、ホームステイ先のチワワ、北アイルランドへ一人で観光に行ったときに出会ったドイツ人のおじさんでした。

英語の授業レベルは中学・高校内容でしたが、英語で授業を受けると全く難易度が違うように感じました。しかし先生はとても愉快で明るく授業は楽しくて、最後のクラスではカラオケ大会をしました。ホストファミリーとのコミュニケーションや英語の授業、現地の人に話しかけたりすることを通して、少なくとも英語を話すことへの抵抗は一切なくなり、英語力も確実に向上したと思います。辛いことも大変なことも楽しいことも感動したことも、何もかもが詰まった1か月は長いようで短く、本当に貴重な経験でした。一人で申し込んだにも関わらず、1か月後には何人もの友達もできていて、やはりあのとき一步を踏み出してよかったです。

# 2024年春渡航



工学部 応用化学科 2年 新井 由羽さん

